★思考と言語研究会（TL）

専門委員長　近藤公久　副委員長　久保村千明・鈴木雅実
幹事　乾　孝司・黒田　航　幹事補佐　富田英司・坪田　康

日時　10 月 4 日（日）　13：15～16：50
会場　早稲田大学 8 号館 303/304/305 号室（新宿区西早稲田 1-6-1．山手線：高田馬場駅から徒歩 20 分．西武新宿線：高田馬場駅から徒歩 20 分．地下鉄東京メトロ東西線：早稲田駅から徒歩 5 分．https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus　原田康也）
議題　資源，言語の学習，場の共創，思考と言語一般

1. N-gram モデルを用いた text-to-speech システムに応じた入力テキスト合成手法
   ○王　楽・Kacper Radzikowski・吉江　修（早大）
2. 日本語の「付加情報＋名詞」と英語の「名詞＋付加情報」の対応について　　岩垣守彦（ALR）
3. 階層構造意味空間モデルによるアブダクティブ推論　　高田明典（フェリス女学院大）
4. 跨境する言語文化資源のマルチ検索活用―四字熟語の自律学習を例にして―　　○楊　敏・砂岡和子（早大）
5. 日本語で数学を学ぶ留学生が抱える問題と彼らを支えるサポート―大学数学の基礎科目「微分積分」・「線形代数」に関して―　　滝口浩由（早大）
6. 外国人住民にとって必要な言語支援とは何か―東日本大震災における福島県の事例から―　　佐藤京子（早大）

◆早稲田大学情報教育研究所，早稲田大学言語情報研究所共催

【問合先】

原田康也
E-mail：harada@waseda.jp